



Technical Information

技 術 資 料

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

オルガチックス**PC-620**

付加型シリコン用プライマーとしての利用

 **マツモトファインケミカル株式会社**

〒272-0023 千葉県市川市南八幡 5-13-2

TEL 047-393-6330 (ダイヤルイン)

FAX 047-393-1063

〒541-0048 大阪営業所／大阪府中央区瓦町 3-4-15 瓦町 SF ビル 6F

TEL 06-7654-6862 (ダイヤルイン)

FAX 06-7655-2087

 Matsumoto Fine Chemical Co.,Ltd.

URL:<http://www.m-chem.co.jp/>

オルガチックスPC-620は、付加型シリコンコーティング剤に強固な密着力を与えるプライマーです。下塗り(アンダーコート)するだけで、従来の付加型シリコンが弱点としていた空気暴露後の密着劣化を防ぐことが出来ます。

1. 特長

- 高い密着性能 : 空気暴露後のラブオフ、スミヤー、耐溶剤性が劇的に向上します。
- 高いコストパフォーマンス : PC-620 を処理した離型フィルムは、密着劣化が少なく長期に渡り使用出来ますので、トータルコスト改善に役立ちます。
- 高い安全性 : ROHS 指令などの規制物質を含まず安心してご使用頂けます。

2. 用途

付加型シリコン系コーティング剤の**密着性向上**

セパレーター

工程紙

粘着テープ

保護フィルム

3. 商品リスト及び物性表

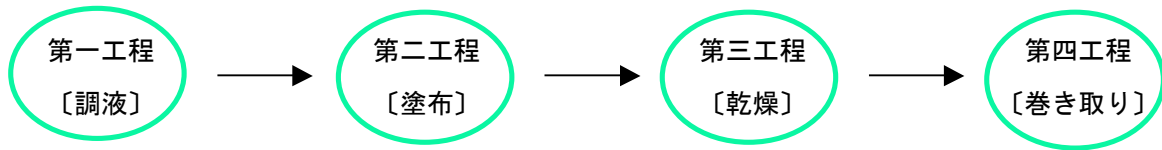
名称		オルガチックスPC-620 (A液)	オルガチックスPC-620 (B液)
組成		チタンオリゴマー +機能化剤	機能化剤
外観		淡黄色液体	無色液体
有効成分濃度		19%	31%
主溶剤		ブタノール : 51% トルエン : 30%	トルエン : 69%
粘度		5mPa・s以下	5mPa・s以下
消防法		第4類第1石油類	第4類第1石油類
化 審 法	日本	○	○
	韓国	○	○
	中国	○	○
	台湾	○	○
製品梱包(容器)		1kg(1.3L金属缶入り)	1kg(1.3L金属缶入り)
		15kg(18L石油缶入り)	15kg(18L石油缶入り)

皮膜物性 (塗工後)	
膜外観	無色透明
膜厚 (推奨塗工時)	300nm
ぬれ性	33.0~34.0 mN/m(ダイン)
接触角	60°
ブロッキング性	無し (ブロッキングせず)

※上記数値は代表値であり、保証値ではございません。

4. 使用方法

オルガチックス PC-620 は 2 液型のコーティング剤です。以下の通りご使用下さい。



第一工程[調液]

商品混合比率: 同量(A 液+B 液=50:50)

溶剤希釈倍率: 5 倍(混合した商品を、さらに以下溶剤で 5 倍に希釈して下さい)

ポットライフ: 調液後 10 時間(10 時間以上経過した塗布液は、廃棄して下さい)

希釈可能溶剤: n ブタノール + 以下溶剤

希釈溶剤リスト

炭化水素		芳香族	アルコール		ケトン	エステル
ヘプタン	メチルシクロヘキサン	トルエン	IPA	nブタノール	MEK	酢酸エチル
○	○	△	×	○*	×	○

○: n ブタノールとの混合(50:50)ならば問題なし △: ぬれ性悪化 ×: 白濁(使用不可)

*単一で希釈可能な溶剤は、n ブタノールのみです。

第二工程[塗布]

塗布量: 約 6 g/m² (Wet)

方法: ロールコート、スピコート、スプレーコート等

※回収した塗液の再利用は避けて下さい

第三工程[乾燥]

乾燥条件: 90~120°C × 30sec

第四工程[巻き取り]

PC-620 はブロッキングしないので、すぐに巻き取ることが可能です。また乾燥後、即性能を発揮しますので、巻き取る前に塗工する 2 コートタイプのラインにもご使用出来ます。

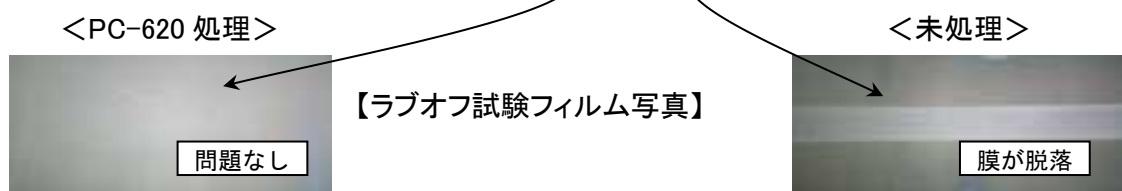
5. 皮膜物性

オルガチックス PC-620 を処理したフィルムへ付加型シリコーン離型剤を塗布乾燥し、空気暴露させた後、以下の物性を測定しました。

プライマー処理	剥離力 (mN/25mm)	残留接着率 (%)	ラブオフ (目視)	耐エタノール性 (目視)	擦過後の剥離力 (mN/25mm)
オルガチックスPC-620	50	85 (暴露前:97)	○	○	100以下
未処理	70	85 (暴露前:94)	×	×	2,500

離型剤: 付加型シリコーン系

暴露条件: 70°C × 90% × 20 時間



※塗布条件

<プライマー塗布方法>

プライマー：オルガチックスPC-620

基材：未処理PET50 μ m

塗布：上記推奨条件にて塗布

(バーコーターNo. 4使用)

備考：乾燥後30分以内に離型剤を塗布

<付加型シリコーン塗布条件>

離型剤：付加型シリコーン系離型剤

触媒添加量：主剤/触媒=100/1.5 (wt比)

希釈倍率：10倍希釈

希釈溶剤：トルエン/MEK=1/1 (wt比)

硬化条件：130 $^{\circ}$ C \times 30秒

バーコーターNo. 4 (6g/m² : wet) にて塗布

※試験条件

暴露条件：70 $^{\circ}$ C \times 90%RH 下で 20h 静置

剥離力及び残留接着率：JISZ0237 準拠

ラブオフ：指で 5 回擦過し、膜の脱落を目視

耐エタノール性：エタノールを染み込ませた脱脂綿に 100g 加重し、100 往復回擦過した後の膜の脱落を目視

擦過後の剥離力：500g加重の脱脂綿にてフィルム表面を 100 往復回擦過した後、剥離力を測定

6. 使用上の注意

本品は加水分解性が高いため、開封後は速やかにご使用下さい。また、使用している溶剤は高い引火性を示しますので、ご使用前に必ずSDSをお読み下さいますようお願い致します。

本資料に記載された内容は、現時点で入手できたデータに基づく情報提供を目的としたものであり、いかなる記載内容も保証するものではありません。

問い合わせ先 マツモトファインケミカル株式会社

営業部 千葉県市川市南八幡 5-13-2

Tel 047-393-6330

Fax 047-393-1063

大阪営業所 大阪市中央区瓦町 3-4-15

瓦町 SFビル 6F

Tel 06-7654-6862

Fax 06-7655-2087

URL : <http://www.m-chem.co.jp>